



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月10日

上場会社名 株式会社歌舞伎座 上場取引所 東
 コード番号 9661 URL http://www.kabuki-za.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 信義
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高橋 克彦 (TEL) 03-3541-5572
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日~平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	2,833	562.7	447	—	457	—	289	—
25年2月期第2四半期	427	22.1	△120	—	△99	—	△76	—

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 149百万円(—%) 25年2月期第2四半期 △69百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	23.90	—
25年2月期第2四半期	△6.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	27,608	9,071	32.9
25年2月期	27,800	8,989	32.3

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 9,071百万円 25年2月期 8,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日~平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,386	538.9	812	—	805	—	491	—	40.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に該当します。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年2月期2Q	12,170,000株	25年2月期	12,170,000株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	62,294株	25年2月期	60,879株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年2月期2Q	12,108,612株	25年2月期2Q	12,110,396株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 会計方針の変更等	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却を目的とした経済政策・金融政策等の効果により、円高修正や株高を起点とした景気回復の動きが確かなものとなることが期待される状況で推移いたしました。

当社グループにおきましては、平成25年2月に主たる事業所である劇場歌舞伎座の建替え工事を完了し、3月1日に木挽町広場をオープン、4月2日には劇場歌舞伎座も開場いたしました。このような情勢のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,833,056千円(前年同期比562.7%増)、営業利益は447,119千円(前年同期は120,401千円の営業損失)、経常利益は457,311千円(前年同期は99,362千円の経常損失)、四半期純利益は289,394千円(前年同期は76,810千円の四半期純損失)となりました。

これをセグメント別にみると、不動産賃貸事業については、新劇場及び木挽町広場店舗等の賃料収入により、売上高が897,471千円(前年同期比221.5%増)、セグメント利益は443,897千円(前年同期比551.1%増)となりました。

食堂・飲食事業については、新規店舗の増加により、売上高は530,951千円(前年同期比350.1%増)となりましたが、人件費の負担増、開業に伴う初期費用の発生及び劇場内店舗の営業開始が4月であったこと等により、セグメント損失は49,301千円(前年同期はセグメント損失19,389千円)となりました。

売店事業については、木挽町広場の新店舗及び劇場内の売店等が好調に推移したことにより売上高は1,404,634千円(前年同期は30,409千円)、セグメント利益は302,582千円(前年同期は9,337千円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ191,375千円減少し、27,608,755千円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ73,862千円増加し、1,351,617千円となりました。主な要因は、現金及び預金、たな卸資産の増加並びに未収消費税等の還付による減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ265,238千円減少し、26,257,138千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価による減少であります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ79,369千円増加し、1,375,231千円となりました。主な要因は、買掛金、前受金の増加並びに長期借入金から振替えたことによる1年内返済予定の長期借入金の増加に対して、返済による短期借入金の減少並びに未払金の減少等であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ352,808千円減少し、17,161,747千円となりました。主な要因は、流動負債に振替えたことによる長期借入金並びに長期前受金の減少、長期預り保証金の増加等であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ82,062千円増加し、9,071,777千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加並びにその他有価証券評価差額金の減少であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しており、現時点におきましては、平成25年7月10日に発表した業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を変更しております。なお、この変更を行った理由及び当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は9ページ(5)会計方針の変更等、セグメントに与える影響額は9ページ(6)セグメント情報等に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	606,385	1,227,041
受取手形及び売掛金	22,429	22,629
たな卸資産	19,263	50,843
未収消費税等	591,550	—
繰延税金資産	6,903	11,893
その他	31,709	39,416
貸倒引当金	△487	△206
流動資産合計	1,277,755	1,351,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,737,971	11,665,995
土地	6,238,098	6,238,098
建設仮勘定	24,184	—
その他(純額)	444,307	507,010
有形固定資産合計	18,444,562	18,411,105
無形固定資産		
借地権	2,613,299	2,613,299
商標権	568	532
施設利用権	16,268	15,723
ソフトウェア	4,658	17,166
無形固定資産合計	2,634,794	2,646,721
投資その他の資産		
投資有価証券	4,822,888	4,605,657
長期前払費用	569,964	562,954
繰延税金資産	20,127	—
その他	32,733	33,393
貸倒引当金	△2,694	△2,694
投資その他の資産合計	5,443,019	5,199,311
固定資産合計	26,522,376	26,257,138
資産合計	27,800,131	27,608,755

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,752	303,572
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	23,000	331,500
未払金	625,737	166,277
未払法人税等	6,926	42,954
前受金	330,323	409,978
賞与引当金	11,402	15,912
1年内返還予定の預り保証金	30,000	30,000
その他	40,719	75,035
流動負債合計	1,295,861	1,375,231
固定負債		
長期借入金	2,477,000	2,168,500
長期未払金	136,470	117,270
長期前受金	14,371,257	14,224,852
繰延税金負債	287,705	327,548
退職給付引当金	37,549	40,381
長期預り保証金	204,573	261,029
その他	—	22,164
固定負債合計	17,514,555	17,161,747
負債合計	18,810,416	18,536,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,365,180	2,365,180
資本剰余金	3,256,073	3,256,367
利益剰余金	2,499,490	2,728,339
自己株式	△265,409	△272,694
株主資本合計	7,855,334	8,077,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,134,380	994,585
その他の包括利益累計額合計	1,134,380	994,585
純資産合計	8,989,715	9,071,777
負債純資産合計	27,800,131	27,608,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	427,530	2,833,056
売上原価	344,960	2,104,617
売上総利益	82,569	728,438
販売費及び一般管理費		
人件費	127,612	150,969
賞与引当金繰入額	6,812	10,589
退職給付費用	2,181	7,031
租税公課	5,359	6,506
減価償却費	1,491	3,143
その他	59,513	103,079
販売費及び一般管理費合計	202,970	281,319
営業利益又は営業損失(△)	△120,401	447,119
営業外収益		
受取利息	3,132	88
受取配当金	16,442	16,427
協賛金収入	—	5,720
その他	5,041	7,794
営業外収益合計	24,616	30,031
営業外費用		
支払利息	2,400	18,375
その他	1,178	1,463
営業外費用合計	3,578	19,839
経常利益又は経常損失(△)	△99,362	457,311
特別利益		
固定資産受贈益	5,000	3,100
特別利益合計	5,000	3,100
特別損失		
投資有価証券評価損	10,961	—
有形固定資産除却損	10,230	—
特別損失合計	21,191	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△115,554	460,411
法人税、住民税及び事業税	1,108	38,601
法人税等調整額	△39,852	132,416
法人税等合計	△38,743	171,017
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△76,810	289,394
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△76,810	289,394

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△76,810	289,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,631	△139,794
その他の包括利益合計	7,631	△139,794
四半期包括利益	△69,179	149,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69,179	149,599

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△115,554	460,411
減価償却費	16,538	272,665
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△209	△281
賞与引当金の増減額(△は減少)	△396	4,510
退職給付引当金の増減額(△は減少)	644	2,832
受取利息及び受取配当金	△19,574	△16,516
支払利息	2,400	18,375
投資有価証券評価損益(△は益)	10,961	—
固定資産受贈益	△5,000	△3,100
有形固定資産除却損	10,230	618
売上債権の増減額(△は増加)	9,728	△199
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,234	△31,579
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,951	275,820
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	591,550
未払消費税等の増減額(△は減少)	524	36,709
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△19,200
長期前受金の増減額(△は減少)	△146,404	△146,404
預り保証金の増減額(△は減少)	△2,664	—
長期預り保証金の増減額(△は減少)	490	56,456
その他	112,795	149,263
小計	△138,675	1,651,933
利息及び配当金の受取額	19,253	16,516
利息の支払額	—	△15,152
法人税等の支払額	△2,080	△3,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	△121,502	1,649,928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	1,800,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,380,431	△746,226
無形固定資産の取得による支出	—	△15,089
保険積立金の払戻による収入	6,510	—
その他	△50	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	426,028	△761,315
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△200,000
自己株式の処分による収入	—	2,415
自己株式の取得による支出	△4,164	△9,406
リース債務の返済による支出	—	△2,014
配当金の支払額	△59,110	△59,060
その他	42	108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△63,232	△267,957
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	241,294	620,655
現金及び現金同等物の期首残高	644,509	606,385
現金及び現金同等物の四半期末残高	885,804	1,227,041

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 会計方針の変更等

当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日至平成25年8月31日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
従来、当社及び連結子会社は、有形固定資産の建物及び構築物(平成10年4月1日以降に取得した建物を除く)、機械装置及び運搬具、並びに、工具、器具及び備品の減価償却方法について定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。	
当社及び連結子会社は、長期安定的な収入をもたらす賃貸不動産を所有しており、減価償却について、賃貸収益に対応する費用は賃貸期間にわたり均等に配分することが、より適正な費用配分となり、経営の実態を適切に表現できると判断したことによるものであります。	
この変更により、従来の方法によった場合と比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ267,246千円増加しております。	

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	279,146	117,974	30,409	427,530	—	427,530
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	34	52	87	△87	—
計	279,146	118,008	30,462	427,617	△87	427,530
セグメント利益又は損失(△)	68,174	△19,389	9,337	58,122	△178,523	△120,401

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△178,523千円は、セグメント間取引消去△0千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△178,523千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	897,471	530,951	1,404,634	2,833,056	—	2,833,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	115,936	989	260	117,186	△117,186	—
計	1,013,407	531,941	1,404,894	2,950,243	△117,186	2,833,056
セグメント利益又は損失(△)	443,897	△49,301	302,582	697,178	△250,059	447,119

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△250,059千円は、セグメント間取引消去△8,863千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△241,195千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

会計方針の変更等に記載の通り、当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を変更しております。

これにより、従来の方法によった場合と比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、不動産賃貸事業で252,237千円、食堂・飲食事業で10,056千円、売店事業で4,243千円それぞれ増加しております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。